

平成21年度 決算を認定

平成二十一年度町田市一般会計・各特別会計決算認定は、九月一日に設置した二〇人構成する決算特別委員会に付託し審査を行いました。そして一〇月六日の本会議において、委員長の報告とおの意見を経て認定しました。

決算特別委員会の構成

- ◎山下つや ○白川哲也
- 森本せいや わたべ真実
- 市川 勝斗 河辺康太郎
- 熊沢あやり 細野 龍子
- あさみ美子 若林 章喜
- (◎委員長 ○副委員長)

議会の意見(要約)

平成二十一年度(二〇〇九年)町田市一般会計・各特別会計決算は、歳入総額二、一三八億一、七二六万五千円に対し、歳出総額二、〇七六億四、八二二万四千円である。形式収支では六一億六、九〇三万一千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支においても五二億八、二四九万三千円の黒字となっている。

一般会計で見ると、歳入は一、三二五億七、六八五万円で前年度に比べ、一九億七、七二六万八千円増加した。

特別会計は、歳入総額八二億四、〇四一萬五千円、歳出総額八〇六億六、三四四万八千円となっており、前年度に比べ歳入で四五億三七〇万一千円減少し、歳出で三億四、三九七万九千円減少した。

特別会計の純計決算歳入歳出差引額は、受託水道事業会計を除き全て赤字であり、一般会計からの繰入れにより、収支の均衡を保っている状況である。

経常収支比率は、前年度に比べ一・四ポイント上昇して八九・五%となった。なお、臨時財政対策債を経常一般財源に加えられない場合の実質的な経常収支比率は、九三・一%となっており、八〇%を大きく上回っている数値で、財政の硬直化が懸念されることである。

今後も一層厳しい財政状況が予測されている中で、更なる行政サービスの向上を目指しつつ、予算執行に当たってはコスト意識を持った事務の見直しを進め、効率的で効果的な行政運営を努められたい。

最後に、次の諸点については、委員会審査の際に指摘し、注意喚起を行ってきたところであるが、今後の予算編成及びその執行に当たっては特に留意されたい。

歳出

◆**総括**

①歳出における過大な不用額・流用が発生しないよう、適正な積算を行うなど予算編成及びその執行に努められたい。

②施設建設や施設維持管理の際は、ランニングコストの実態把握やデータを検証するなど適正に運用されたい。

③施設修繕の執行財源を流用等により確保している事例が多く見受けられる。修繕計画を作成し、計画的な執行に努められたい。

④貸出施設の利用に関しては、市民サービス向上のため利用実態をよく把握し利用率を向上させたい。

◆**総務費**

①未利用地や公共施設跡地利用検討については、今後も跡地が増えることが予想されるため、検討課題の確立と明確な活用基準を創設し、市民の声を聴きながら、有効活用を図られたい。

②地上デジタル放送移行にあたっては、十分な情報を提供するとともに、市民の実態に即して、情報難民が生まれないよう、町田市としても積極的に取り組まれたい。

③中心市街地活性化の企画にあたっては、地元商店会、市民の声を十分吸い上げながら、まちづくりを進められたい。

④職員の定員管理計画推進に伴い、嘱託職員や臨時職員が増加しているが、職務の同一性並びに継続性にかんがみ労働条件の向上に努められたい。

⑤職員試験事務については、団塊の世代が退職し、職員年齢人口に偏りが見られる。管理職希望者の減少傾向にかん

がみ、人材育成に努められたい。

⑥つながりひろがる地域支援事業補助金については、担当課の目的意識を明確にし、事業趣旨(市民・地域への還元等)並びに継続性を重視し、適正な審査・執行を行われたい。

⑦市の所有する町内会・自治会集会所予定地などは、利用目的の再検討を含め、活用を図られたい。

⑧男女平等施策を実態に即して進めるために、女性を構成員に含めた男女平等参画協議会を開催するなどし、課題の掘り起こしに努められたい。

⑨女性問題相談事業については、対面相談の充実など問題解決が図られるよう、より一層の努力をされたい。

⑩忠生市民センターの建て替えに伴い、教室等開催ができなくなるため、近隣の施設などで会議室等を利用できるように調整されたい。

◆**民生費**

①災害時要援護者支援対策事業については、個人情報保護の問題も地域ごとに合意を図りながら、全庁的課題として民生委員、地域、消防団との連携を更に深め、災害時にしっかりと機能する内容となるよう一層の支援強化を図られたい。

②やまゆり号運行サービス運営費補助金については、実態に即した運用を図られたい。

③生活保護事務費については、市民のニーズにこたえるため、ケースワーカーの配置基準に沿うよう改善されたい。また生活資金貸付金は、適切な予算を確保されたい。

④成年後見制度については、窓口相談や周知の促進で、市民の理解と利便性向上に努められたい。

⑤就労・住宅相談事業については、実態に即した解決が行われるような制度の改善を図るべく、町田市としても住宅支援策に引き続き取り組まれたい。

⑥障がい者の通院に対するヘルパー派遣については、介護保険対象の障がい者にも同様に利用できるよう拡充されたい。

⑦障がい者就労生活支援事業については、本人・家族・事業者間の連携を密にする環境を整え、就労及び定着支援の更なる実績拡大に努められたい。

⑧高齢者の見守りの地域の核になっている地域包括支援センターを支える統括支援センターの役割及び機能の強化を図られたい。

⑨高齢者福祉施設職員海外研修事業補助金については、報告会の実施のみならず、実際の現場に役立てるよう、実りある研修事業となるよう図られたい。

⑩緊急通報システムの設置基準の見直しや、周知方法の工夫で、市民のニーズにこたえられるシステムの提供に努められたい。

⑪子育てを取り巻く環境は多様化しており、子育ての相談等がよりしやすい環境づくりにために、子育て支援センター機能の拡充を図られたい。

⑫民間保育所整備支援事業を進めるにあたり、市は積極的に事業に関与し、関係者はもちろんのこと、建設地周辺の住民にも十分配慮されたい。また、限定期間終了後の該当施設利用法を含む事後措置をしっかりと念頭において事業執行されたい。

⑬学童保育クラブの整備・改修や校外にある学童保育の校内への移動については、児童の安全を確保するために、早期に実施されたい。

⑭子どもセンター建設においては、より一層、地域の子どもたちの意見を受け入れるよう努力されたい。

◆**衛生費**

①保健所政令市移行事務においては、東京都との協議の中で、五年目までの支援策については固まったようだが、五年目以降の人的、財政的支援も引き続き行われるよう協議を進められたい。

②受診率の向上で早期発見・早期治療を目指すため、がん検診の更なる啓発の促進に努めるとともに、女性特有のがん検診については、女性医師の紹介等きめ細やかな対応を図られたい。

③動物愛護管理事業について、不幸な命を生み出さないため、飼い主のいない猫や犬に対し、避妊・去勢手術の補助事業や新たな飼い主を探す支援事業の更なる促進とともに、市民への意識啓発に努められたい。

④堆肥化実験事業運営業務委託については、剪定枝再資源化を進めるとともに、農業従事者が利用しやすい堆肥化実験を行い、もって都市農政の推進を図られたい。

◆**農林費**

①北部丘陵まちづくり促進費については、地権者の声も吸い上げながら、農と緑のまちづくりを具体的に目に見える形で整備を進められたい。

◆**商工費**

①小野路宿通り周辺街づくり推進事業については、地元と連携し、実状にあった事業を行うよう努められたい。

◆**土木費**

①地籍調査事業については、地権者の心情・歴史的背景に最大限配慮し、丁寧かつ慎重

に促進されたい。

②自転車駐車場においては、稼働率が低いところが見受けられる。利便性及び需要の把握を的確に行い、実施されたい。

③路線バス利用促進事業については、バス事業者と連携を図りながら、バスの有効活用と環境負荷の低減に努められたい。

④相原駅周辺街づくり推進事業については、検討結果を踏まえ早期に具体策を示されたい。

◆**消防費**

①防災情報事業については、アナログ信号からデジタル信号への切替えに際しては、消防団とも連携し、事業を進められたい。

◆**教育費**

①小学校支援ボランティアについては、学校・地域との連携を密にし、子どもたちの支援にあたられるよう更に努められたい。また、人材バンクの設置でボランティア登録をし、適切な人材配置が行われるよう努力されたい。

②適切な運用基準の検討をされ、小中学校の普通教室にもエアコン設置計画を早急に作成し、設置を進められたい。

③科学センター費については、理科学教育の規模と内容の一層の充実を図られたい。

④中二職場体験学習継続にあたっては、現場の声を吸い上げて、職場確保や指導体制について、更なる改善を図られたい。

◆**青少年**

⑤町田市放課後子ども遊び場見守り事業については、事業にかかわる人の意見をしっかりと反映し事業展開が進められるよう引き続き努力されたい。

⑥自由民権資料館普及事業については、関係機関との連

携を重ね、来館者数の向上に加え、町田市民への周知も積極的に促進されたい。

⑦身近なところに図書館がない地域においては、図書館利用需要にこたえられる工夫・検討をされたい。

特別会計

◆**国民健康保険事業会計**

①雑入、一般被保険者第三者納付金において、四、〇八七、五九五円の収入未済が発生している。収入済みとなるよう保険者として必要な措置をとり、引き続き努力されたい。

◆**下水道事業会計**

①管渠建設費については、直営の方向を見据えて、契約のあり方を検討しつつ、十分な安全性が確保されるよう努められたい。

一般会計

◆**歳入**

①葬祭事業においては、福祉政策的側面及び事業的側面のバランスを保ち、適正規模での事業執行をされたい。

一般会計

◆**総括**

①コンサルタント業務委託は、直営とのコスト比較を十分行った上で、実施されたい。

◆**総務費**

①新公会計制度導入事務に

一般会計

◆**歳入**

①経済状況の厳しい折、緊急雇用創出事業を有効に活用されるなど、市民の雇用創出に積極的に取り組まれたい。

◆**歳出**

①経済状況の厳しい折、緊急雇用創出事業を有効に活用されるなど、市民の雇用創出に積極的に取り組まれたい。

一般会計

◆**歳入**

①経済状況の厳しい折、緊急雇用創出事業を有効に活用されるなど、市民の雇用創出に積極的に取り組まれたい。

◆**歳出**

①経済状況の厳しい折、緊急雇用創出事業を有効に活用されるなど、市民の雇用創出に積極的に取り組まれたい。